



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチダイ

コード番号 6467 URL <http://www.nichidai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古屋 元伸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山根 隆義

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0774-62-3481

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,790	△5.3	175	△60.2	124	△70.7	64	△77.3
28年3月期第2四半期	7,166	△1.6	441	△31.8	426	△35.0	285	△26.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △330百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 347百万円 (△5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第2四半期	7.16	—
28年3月期第2四半期	31.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,113		9,904			60.1
28年3月期	15,725		10,326			59.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,079百万円 28年3月期 9,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,000	△1.9	570	△31.2	500	△34.7	325	△33.1	35.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更をおこなっており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当しています。詳細は添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,053,300 株	28年3月期	9,053,300 株
29年3月期2Q	2,015 株	28年3月期	2,003 株
29年3月期2Q	9,051,293 株	28年3月期2Q	9,051,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(生産、受注及び販売の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業では、米国、欧州、中国市場における販売台数が好調に推移した一方、軽自動車の販売不振が続く国内市場やASEAN市場の販売は低水準で推移いたしました。このような販売動向のもと、日系完成車メーカーの世界生産台数は、前年と同水準で推移しております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業では、金型部門において、第2四半期より国内向けの売上高は増加傾向となったものの、アジア地域向けの売上高が低調に推移いたしました。また、精密鍛造品部門では国内におけるエアコン用スクロールコンプレッサー部品の売上高が減少いたしました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は33億3千2百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

アッセンブリ事業では、ガソリンエンジン車向けのターボチャージャー部品の売上高が増加する一方、VGTターボチャージャー部品の売上高が低調に推移いたしました。その結果、アッセンブリ事業の売上高は25億3百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

フィルタ事業は、海外子会社THAI SINTERED MESH CO., LTD. で生産する石油掘削用フィルターの売上高が大幅に減少いたしました。大型海水ストレーナーなどの売上高が増加したことにより、売上高は9億5千3百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

以上の結果、連結売上高は67億9千万円（前年同期比5.3%減）となりました。

損益面におきましては、ネットシェイプ事業が第2四半期に入り収益性を回復したものの、アッセンブリ事業が経常損失を計上したことなどから、営業利益1億7千5百万円（前年同期比60.2%減）、経常利益1億2千4百万円（前年同期比70.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6千4百万円（前年同期比77.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産におきましては、前連結会計年度末に比べ6億1千1百万円減少し、151億1千3百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億1千4百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が3億2千1百万円、棚卸資産が3億1千9百万円、有形固定資産が3億6千9百万円減少したことによるものであります。

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ1億9千万円減少し、52億8百万円となりました。これは、主に賞与引当金が1億3千万円増加した一方、未払金が1億2千8百万円、未払消費税等が5千1百万円、リース債務が7千1百万円減少したことによるものであります。

純資産におきましては、為替換算調整勘定等によりその他の包括利益累計額が2億9千3百万円、非支配株主持分が1億1百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて4億2千1百万円減少し、99億4百万円となり、自己資本比率は60.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4億1千5百万円増加し、23億7千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は10億1千5百万円(前年同期比73.4%増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益1億2千万円、減価償却費3億9千1百万円、賞与引当金の増加額1億3千3百万円、売上債権の減少額2億1千9百万円、たな卸資産の減少額2億5千3百万円の増加要因より、法人税等の支払額1億円の減少要因を差し引いた結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億2千5百万円(前年同期比32.0%減)となりました。これは、主にネットシェイプ事業用設備及びアセンブリ事業用設備の更新等、有形固定資産の取得による支出3億1千4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億5千7百万円(前年同期比68.9%減)となりました。これは、主に長期借入れによる収入7億5千万円の増加要因より、短期借入金の減少額8千6百万円、長期借入金の返済による支出6億6千4百万円、配当金の支払額9千万円の減少要因を差し引いた結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきまして、現段階で入手可能な資料に基づき通期の業績を検討した結果、平成28年5月6日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成28年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当社は、利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。そのため、経営成績の動向や配当性向などの諸指標も考慮しながら、配当額を決めております。

当期は、当社創立50周年を迎える年でもあり、当初予想どおり、中間配当を10円とし、期末配当につきましても10円を予定しております。これにより、年間配当は、前期と同額の合計20円となる予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内子会社1社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、昨今の自動車産業の潮流を踏まえ、事業構造の転換を実行するための設備投資を契機として、当社グループの有形固定資産の使用実態を検討した結果、定額法による減価償却の方法を採用する方が使用実態とより整合した費用配分を行うことができることから実施したものです。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ58,046千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,286	2,487,363
受取手形及び売掛金	3,798,690	3,477,400
商品及び製品	730,068	521,320
仕掛品	1,032,555	1,024,681
原材料及び貯蔵品	761,288	658,027
その他	138,396	134,844
貸倒引当金	△1,607	△1,305
流動資産合計	8,532,678	8,302,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,254,931	2,142,706
機械装置及び運搬具(純額)	1,883,145	1,755,856
土地	1,810,342	1,788,314
その他(純額)	896,044	788,297
有形固定資産合計	6,844,462	6,475,174
無形固定資産	95,632	127,207
投資その他の資産	252,310	208,644
固定資産合計	7,192,405	6,811,026
資産合計	15,725,084	15,113,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,318,522	1,290,281
短期借入金	500,000	413,987
1年内返済予定の長期借入金	1,075,224	1,089,028
リース債務	132,463	132,382
未払法人税等	71,358	62,484
賞与引当金	147,044	277,497
その他	743,861	547,518
流動負債合計	3,988,473	3,813,180
固定負債		
長期借入金	935,550	1,007,365
リース債務	354,070	282,952
退職給付に係る負債	120,945	105,025
固定負債合計	1,410,566	1,395,342
負債合計	5,399,040	5,208,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	6,681,954	6,656,276
自己株式	△1,192	△1,197
株主資本合計	9,303,540	9,277,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,635	144
為替換算調整勘定	227,085	△80,647
退職給付に係る調整累計額	△135,614	△118,166
その他の包括利益累計額合計	95,107	△198,669
非支配株主持分	927,396	825,649
純資産合計	10,326,044	9,904,836
負債純資産合計	15,725,084	15,113,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,166,847	6,790,001
売上原価	5,693,762	5,595,074
売上総利益	1,473,085	1,194,926
販売費及び一般管理費	1,031,574	1,019,402
営業利益	441,510	175,524
営業外収益		
受取利息	4,371	3,617
受取配当金	283	327
保険解約返戻金	12,753	8,735
保険配当金	1,783	8,818
その他	4,926	7,750
営業外収益合計	24,119	29,250
営業外費用		
支払利息	23,643	17,048
為替差損	14,531	59,151
雑損失	1,150	3,599
営業外費用合計	39,324	79,799
経常利益	426,304	124,974
特別利益		
固定資産売却益	3,012	385
投資有価証券償還益	-	4,535
特別利益合計	3,012	4,920
特別損失		
固定資産売却損	-	111
固定資産除却損	2,163	8,861
特別損失合計	2,163	8,973
税金等調整前四半期純利益	427,153	120,922
法人税、住民税及び事業税	110,185	62,893
法人税等調整額	△32,618	△18,619
法人税等合計	77,567	44,274
四半期純利益	349,585	76,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,880	11,813
親会社株主に帰属する四半期純利益	285,704	64,834

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	349,585	76,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,353	△3,491
為替換算調整勘定	△8,048	△421,294
退職給付に係る調整額	8,074	17,448
その他の包括利益合計	△2,327	△407,337
四半期包括利益	347,258	△330,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,954	△228,942
非支配株主に係る四半期包括利益	61,303	△101,747

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427,153	120,922
減価償却費	475,564	391,290
賞与引当金の増減額 (△は減少)	134,116	133,302
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△22,023	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△14,088
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△175	△302
受取利息及び受取配当金	△4,654	△3,944
保険解約返戻金	△12,753	△8,735
支払利息	23,643	17,048
固定資産除却損	2,163	8,861
固定資産売却損益 (△は益)	△3,012	△274
投資有価証券償還損益 (△は益)	-	△4,535
売上債権の増減額 (△は増加)	165,577	219,764
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△94,543	253,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277,381	37,531
その他	△90,987	△44,026
小計	722,685	1,106,434
利息及び配当金の受取額	4,928	4,027
利息の支払額	△23,415	△17,017
法人税等の支払額	△118,347	△100,143
法人税等の還付額	-	22,484
営業活動によるキャッシュ・フロー	585,851	1,015,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104,740	△105,464
定期預金の払戻による収入	104,709	105,438
有形固定資産の取得による支出	△503,809	△314,796
有形固定資産の売却による収入	374	585
投資有価証券の取得による支出	△430	△444
投資有価証券の償還による収入	320	8,115
保険積立金の解約による収入	37,216	34,329
その他	△13,041	△53,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△479,402	△325,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△206,512	△86,012
長期借入れによる収入	550,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△671,627	△664,381
リース債務の返済による支出	△69,535	△66,645
自己株式の取得による支出	-	△5
配当金の支払額	△108,383	△90,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506,057	△157,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,123	△117,474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△400,732	415,131
現金及び現金同等物の期首残高	2,316,575	1,964,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,915,843	2,379,818

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	合計
	ネットシェイプ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,649,096	2,601,303	916,446	7,166,847	—	7,166,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,649,096	2,601,303	916,446	7,166,847	—	7,166,847
セグメント利益	150,718	140,485	135,100	426,304	—	426,304

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益であります。

(注)2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	合計
	ネットシェイプ	アッセンブリ	フィルタ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,332,689	2,503,481	953,830	6,790,001	—	6,790,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	151,484	—	—	151,484	△151,484	—
計	3,484,174	2,503,481	953,830	6,941,486	△151,484	6,790,001
セグメント利益又は セグメント損失(△)	53,933	△17,108	88,149	124,974	—	124,974

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の経常利益であります。

(注)2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内子会社1社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「ネットシェイプ」で42,117千円、「フィルタ」で9,304千円増加し、セグメント損失が、「アッセンブリ」で6,624千円減少しております。

(生産、受注及び販売の状況)

(1) 販売実績

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	3,649,096	50.9	3,332,689	49.1
アッセンブリ	2,601,303	36.3	2,503,481	36.9
フィルタ	916,446	12.8	953,830	14.0
合計	7,166,847	100.0	6,790,001	100.0

(注) 内、海外向売上高

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ネットシェイプ	1,178,868	32.3	996,537	29.9
アッセンブリ	1,481,926	57.0	1,427,442	57.0
フィルタ	257,694	28.1	265,446	27.8
合計	2,918,489	40.7	2,689,425	39.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ネットシェイプ	3,506,077	1,084,203	3,432,410	1,114,805
アッセンブリ	2,515,014	1,653,347	2,693,325	1,853,503
フィルタ	1,011,680	529,092	977,098	475,661
合計	7,032,772	3,266,642	7,102,834	3,443,970

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ネットシェイプの精密鍛造品部門とアッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

(3) 生産実績

(単位：千円)

事業別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
	金額	金額
ネットシェイプ	3,502,525	3,165,301
アッセンブリ	2,740,314	2,349,457
フィルタ	879,232	919,289
合計	7,122,073	6,434,048

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。